

「書道Ⅱ」	単位数	2 単位
	学年・学級	2 学年書道選択クラス

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。 2 書を楽しむ態度を通して感性を高め、自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞能力を伸ばす。 3 書の伝統と文化についての理解を深める
使用教科書・副教材等	教育出版 書道Ⅱ

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい
第1学期	1 楷書の復習 2 行書の復習	4	<ul style="list-style-type: none"> 書道Ⅰで学んだ楷書の用筆法、結構法の理解を深める。 書道Ⅰで学んだ行書の用筆法、結構法の理解を深める。 楷書と行書の相違、特徴を理解し表現できるようにする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> 篆書に興味・関心を持ち歴史的な位置付けを理解する。技法を理解する。
	3 篆書の学習 ・書体の変換 ・名跡の鑑賞と臨書	6	<ul style="list-style-type: none"> 小篆の用筆・運筆、結構の特徴を理解し、表現技法を理解する。
		7	<ul style="list-style-type: none"> 金文の基本的な用筆・運筆、結構を習得する。 作品を鑑賞することで篆書に対する表現の多様性を理解し、鑑賞力を深め、書美に対する完成と書を愛好する心情を身につける。
【第1学期の評価方法】 ・毎時間の課題作品1枚提出、授業態度、質問等による理解度、自己評価・PR、相互評価等により、総合的に評価する。			
第2学期	・落款印（我印）の作成	9	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻が芸術作品として鑑賞の対象となる書の表現の一つであることを理解する。
		10	<ul style="list-style-type: none"> 書作品における落款印の効果を理解する 姓名印の制作をとおして篆刻の手順と技法を理解する。 刻した印を作品に押すことにより、作品の完成の喜びを味わう。
	4 隷書の学習 ・隷書の変換 ・隷書の基本用筆 ・名跡の鑑賞と臨書 曹全碑、韓仁銘、張遷碑	11	<ul style="list-style-type: none"> 隷書に興味・関心を持ち歴史的な位置付けを理解する。 基本的な隷書の学習により、隷書の特徴を理解する。 隷書の基本用筆、字形の特徴を理解し、表現技法を理解する。 古典に基づく学習により、書の多様な表現の可能性を理解する。
12		<ul style="list-style-type: none"> 各古典の線と字形、それによる印象の違いを理解する。 漢字の各書体の発生・変遷を理解する。 隷書の技法を生かして、主体的に作品を制作することが出来るようにする。 作品を鑑賞する事で、隷書による表現の多様性を理解し、書美に対する感性を高め、書を愛好する心情を身につける。 	
【第2学期の評価方法】 ・夏休みの課題、毎時間の課題作品1枚提出、授業態度、質問等による理解度、自己評価・PR、相互評価等により、総合的に評価する。			
第3学期	11 漢字仮名交じり書の学習	1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じり書の変遷・さまざまな表現を理解する。
	12 作品制作	2	<ul style="list-style-type: none"> 書体の特徴、文字構成、墨書、墨量等を工夫しながら 作品制作の過程を学ぶ。 各自の個性を表現された作品を鑑賞し、さまざまな書 の美を発見して、書への親しみを深める。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ※語句、書体は自由。どういう語句をどう表現したいかという主体性

	を持つことが大切である。
【第3学期の評価方法】	・毎時間の課題作品1枚提出，授業態度，質問等による理解度，自己評価・PR，相互評価等により，総合的に評価する。
【年間の学習状況の評価方法】	下記の4つの観点から評価した1学期，2学期，3学期の成績を総合し，年間の学習成績とする。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の学習においてはまずよく見るのが大切である。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かおう。 ・得られた感想は何に由来するものか，用具・用材，構成，また作者や時代背景といった様々な要素について考え分析する姿勢が大切である。 ・技法の習得は主として古典の臨書によりますが，ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚，1字1字について自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習することが大切である。 ・創作においては「今自分は何を表現したいか」を第一に考え，詩文や用具などを積極的に選択していこう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めるので，用具を準備し着席を完了させること。 ・用具は個人の所有の物，学校の備品ともに大切に使うこと。特に，筆と硯はきれいに洗うこと。 ・作品ファイルはきちんと整理すること。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を通して，書写能力を高め，生活に即した書表現に関心を持ち，意欲的，主体的に活動を行い，その喜びを味わおうとしているか。 ・漢字の書を通して，書の美しさに関心を持ち，意欲的・主体的に活動を行い，その喜びを味わおうとしているか。 ・仮名の書を通して，日本の伝統的な書の美に関心を持ち，意欲的，主体的に活動を行い，その喜びを味わおうとしているか。 ・鑑賞活動を通して，書を愛好し日常生活における書への関心を高め，意欲的，主体的にその美しさを味わおうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・毎時間の課題の提出状況 ・提出作品 ・自己評価・PR
芸術的な感受や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・感性を豊かにし，漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書のよさや美しさを感じ取り，創造的な表現を工夫しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・質問等による理解度
創造的な表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を通して自己を主体的に表現する能力を伸ばし，実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身に付けているか ・漢字の書を通して，自己を主体的に表現する能力を伸ばし，基礎的な技能を身に付けているか。 ・仮名の書を表現するために必要な仮名の線の特徴を理解し，基礎的な技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・相互評価
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・書が生活の中で果たしている役割，書の文化や伝統を幅広く理解し，そのよさや美しさを深く味わっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・相互評価

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の個性を生かし，これを伸ばしていくことを学習の目標の一つとしている。練習する古典や題材とする語句など多くの場面で「自分で選ぶ」ことになる。自分を最高に生かせる選択をしていてもらいたい。 ・「何が出来ているか」より「何が出来るようになったか」を大切にしたい。1時間の中での進歩，単元を通しての進歩，学期を通しての進歩，そして，1年間の学習を通しての進歩が感じられるような学習への取り組みを期待する。 ・書道Ⅱの学習を通して，生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになることを希望する。
--